



荒尾市



1 万田坑グランドオープン

4月25日(日)、万田坑がグランドオープンし、11日間で2万1千人の人が訪れました。期間中は多彩なイベントが開催され、万田坑への理解を深めるきっかけになりました。この成果をバネに世界遺産本登録をめざす機運がより一層高まり、荒尾市の活性化につながることを期待されます。

2 第65回熊本県民体育祭荒尾大会

9月18日(土)、19日(日)第65回熊本県民体育祭荒尾大会が開催され、荒尾市は総合順位が7位(20都市中)、躍進順位が1位となり躍進賞を獲得しました。荒尾市では14年ぶりの開催で県内から多数の応援も駆けつけ、各競技会場で熱い戦いが繰り広げられました。

4 辛亥革命100周年直前企画の開催

11月に「日中友好の懸け橋一孫文と宮崎滔天—絵画資料展」が文化センターで開催されました。上海孫中山故居記念館所蔵の絵画展示や記念講演会が催され平成23年10月の辛亥革命100周年に向けて市民の理解と関心を深めるイベントになりました。

3 市民サービスセンターが開所

6月、あらおシティモール2階に「荒尾市市民サービスセンター」が開所しました。開所時間は年末年始の休所日以外の午前10時30分から午後7時まで。住民票をはじめとした各種証明書の交付を行い、毎月1千件を超える利用があります。

5 荒尾高ラグビー部2年連続花園出場

11月、荒尾高校ラグビー部は県予選大会決勝で九州学院に先制を許す苦しい立ち上がりから持ち味の展開ラグビーで攻撃のリズムを取り戻し、26-11で逆転勝利しました。2年連続5度目の花園では豊富な練習量と経験で上位進出がおおいに期待されます。

10大ニュース

6 荒尾海陽中学校開校

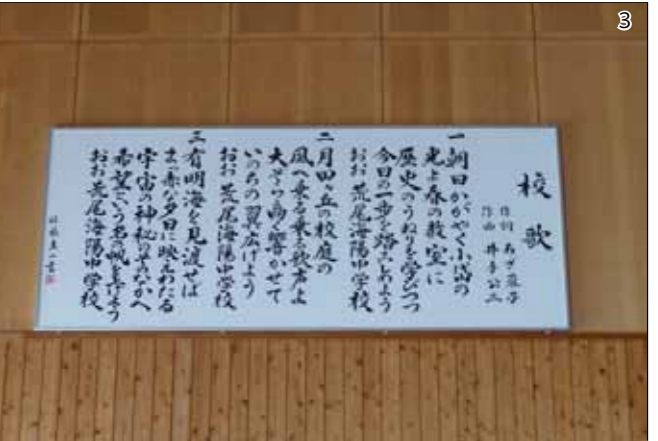
4月8日(木)、荒尾海陽中学校で開校式が行われました。前畑市長から新しい校旗が手渡され、式の最後では校歌が初めて公で斉唱されました。荒尾・玉名で目標とされる学校を目指し「希望と創造」を本年度のスローガンに掲げ、新しい歴史の幕を開けました。

7 熊本県消防操法大会で荒尾市初優勝

8月に開催された第28回熊本県消防操法大会ポンプ車の部門で荒尾の消防団選抜チームが初優勝しました。11月に開催された全国大会では県代表として出場し、惜しくも上位進出はなりませんでしたが、今回の快挙はおおいに称賛されるものです。

9 子育て支援事業の拡充

荒尾市では平成22年度子育て支援課を新設しました。子どもが健やかに育ち、保護者が周囲からの支援を受けながら子育ての責任と喜びを実感できるように、乳幼児医療費助成の拡充、病児・病後児保育事業の開始などの取り組みを始めました。



8 荒尾二小・荒尾三小統合し「万田小」へ

平成23年4月に開校予定の新しい小学校名が万田小学校に決定しました。校名には親しみやすさと地域性が表されるとともに、子どもたちの成長を願う思いが込められています。なお、校舎は旧荒尾二中校舎を増改築し新しい小学校となります。

10 暮らしの便利帳の発行

官民協同事業として昨年度から取り組んできた「荒尾市暮らしの便利帳」が完成し、市内全戸に配布されました。荒尾市の歴史や観光情報、医療機関情報、行政サービスの手続き方法など暮らしに役立つ情報が掲載されていて、荒尾市民の生活に欠かせない1冊になりました。

1 現在の万田坑 2 県民体育祭の陸上競技

3 荒尾海陽中学校の新しい校歌 4 愛知県で行われた消防操法全国大会